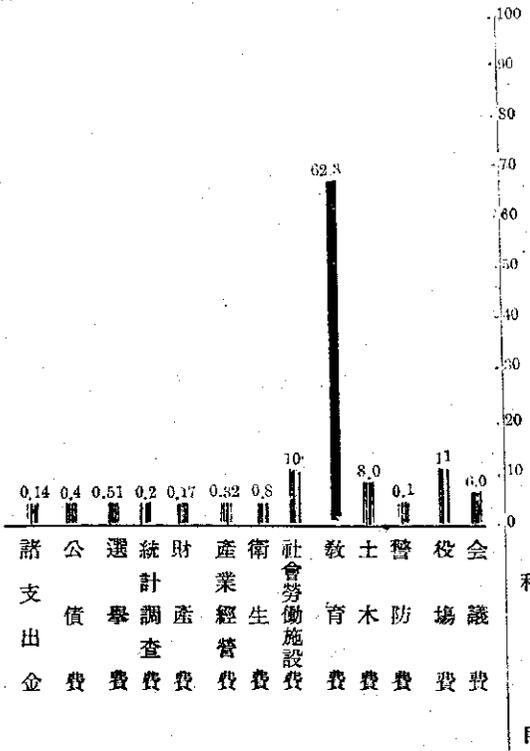


【松代村財政概況】つづき
 他は縣支出金の八十五万三千四百円
 國庫支出金の九十六万六千六百七十円
 地方分與金百七十九萬一千円
 土木費寄附金四十三萬五千円等が主なる歳入であつて、この外税外收入、
 財産收入、前年度の繰越金及び産業經營費縣費補助等金八十三萬三千九百十
 九円である。

③ 村財政の用途
 本村財政の用途を次の表にして見よう



④ 財政の見透し
 昭和廿四年度豫算には未だ具体的な数字は示されないが、歳入の面に於て地
 方分與金が廿三年度最終指令がほぼ確定と見られるからこの金百七十九萬一
 千円と事業税見積三十五萬円、地租九萬円、家屋税附加税四萬三千円、
 村民税は政府に於て現に検討中ではあるが原案通過は見込まれるから、八十
 八萬円余とならう。國庫支出二十五萬円と併せて生活困難者生活補助給金、
 國庫補助金百三十五萬円其他細部の税収入、税外收入を見積つて三十萬円
 合計五百五十四萬四千円余となることが見込まれる。他の臨時費は地方税法の改
 正が當然行なわれるであろうからこれ等による増額分と特別分與金で賄えら
 れるものとして一應解決出来る見込である。
 政府も地方公共団体の財政困難を配量し三收益税、村民税の増徴は共に五割
 迄許可する方針を取つてゐるのであるが、これ等は特殊の支出を要した場
 合に充當するを適當と考へ出未得る限り増徴は行なわれない豫定である。
 而しこれを縣下の小町村に比較するときは三收益税、村民税を五割増徴し尙不
 足を生じ一般寄附を仰ぐと云う現状からしてみれば本村財政は樂観は禁物であ
 るは勿論ではあるがさしたる心配はなすものとうかがえるであらう。

⑤ 村財政の推移
 歳出の面を見れば次の通りである。
 昭和十八年度決算額
 一金六万八千六百三十二円
 昭和十九年
 一金七万五千六百三十一円
 二十年
 一金八万七千四百九十九円
 二十一年
 一金二十六万七千二百七十一円
 二十二年
 一金二百八十七万五千五百六十四円

以上の如く戦後急激な膨張の理由は新學制実施に伴う教育費の増加と地方自
 治法の施行による自主的財政を命ぜられたる等であるが、特にインフレイシ
 ョンの進行に伴う数字的增加が主因となつてゐることは云うまでもないの
 である。

豊作繼續運動の
 一途について

松代村食糧増産推進部

昨年の稲作は今年に會てない大豊作でありました。その原因は御承知の通り
 天候の良かったこと勿論でありませうが好天候に適應してかような豊作を勝
 ち取るまで稲作技術が進んだこと、一割増産に勵まれた農家一人々の努力
 によるところが大きいと思われまゝ。然し乍らもつと豊作にする技術がな
 かつたらどうか？...若し天候が悪かつたらどうなつていただらうか？...
 よく反省して本年に備へなければならぬと思われまゝ。
 本年の天候を今から予想する事は困難であるが何となくもあたりまへでは済ま
 ないような気がする。(たとへば天候が昨年程よくなくともあるいは更に悪ま
 とも技術を驅使し人力の限りをつくして昨年に劣らぬ豊作を繼續しなければ
 ならぬ、占領下である祖國復興の爲に！)

そこで先づ昨年の豊作の主なる原因となつた天候の推
 移を辿りながら重要な栽培技術をつまんで検討して見
 ませう。春は比較的雪が早く消え四月中旬より五月頃は
 毎日暖い春日で野良仕事に順序よくはかどつた苗代
 種刈はみんな揃つて育つたので、殊に薄播の苗代は太く
 大きい見事な健苗が揃つたのです。豊作を約束したよ
 うなものである。たゞ厚播をした苗代は細くて軟かい
 苗代しだいで、しかも早く肥えがして色があせていた
 昭和九年の大凶作を想ひ起してみよう。即ち昨年とよ
 似て春の雪消が早く四、五、六月と異常な良い天気が續
 いたが七月十日頃から様子から弱く變つて毎日冷た
 い雲雨が続いたため厚播した苗代が作れなかつた
 した不作を免れぬのもあつて健苗と弱苗の甚しい差異に驚
 いたのである。苗代期の天候が悪ければ苗病が發生
 し苗不足の危険があるから必ず消毒を実施しませう。
 健苗育成は消毒薄播均播をしなければ不可能である。
 昨年は更に六月から七月廿日頃にかけて良い天候が續
 き一部水不足で困つた所もあつたが早植が徹底し中耕
 除草もよく行われ春先の晴天続きで田上がよく乾燥し
 潜在地力が有効に働いたのである。従つて穂のの有
 効分蘗は大きなものが早く
 揃い、無効分蘗が至つて少
 い。また難なく幼穂形成期を
 迎えた健苗が早く早植したも
 のは特に大柄な稲振りでも
 は全精力を穂の形成發育
 に向けたが地力の足らな
 ために穂肥を欲しそのやう
 なものが少なくなつた。
 種肥をうまく有効に施した
 もの又は地力の豊かだつた
 ことは意外の多収に驚いた
 ことであらう。堆肥を多く施
 して地力を豊にして置くこ
 とは天候の如何に拘らず安
 全多収をする上に大事なこ
 とである。
 種肥の時期は早過ぎないよ
 うに注意すべきである。
 幼穂形成期前に追肥すると
 無効分蘗が多くなり軟弱
 になつて稲熱病に危険であ
 るのみならず穂が少なくな
 つて収量が少くなるからであ
 る。昨年は七月廿日頃には
 候がらよつと悪くなりかけ
 て心配したのであるが軟弱
 でも早植したのであるが既に分
 蘗期を過ぎた幼穂形成期に
 入つていたので大して悪い
 影響もなく危く豊作圏内に
 入つたと言へよう。
 況を想ひ起してみたい。
 昭和九年は七月十日頃から
 天候が俄然悪化した、當時
 はまだ分蘗盛期のもので多
 く無効分蘗を容易に脱し得
 る軟弱の状態のまま、低温多
 濕のため猛烈な稲熱病にや
 られたのである。凶作となつ
 たのであつた。然し健苗へ早
 植して健全な生育をしてい
 たものは天候の悪化する前
 に分蘗期を終りよく低温に
 耐え得たので不作を免れた
 のである。
 去年の稲作でも注意深く観
 察した人は不良なへを晩植
 し或いは早追肥を多量に施
 して軟弱な生育をした稲に
 七月下旬頃稲熱病の著しい
 發生徴候を見られた筈であ
 る。

【松代村農作運動推進事項】

- 一、稻
 - ①堆肥の増産と品質の改善
 - ②施肥方法の改善
 - ③堆肥の切返し
 - ④イムカ肥
 - ⑤ハ穂肥
 - ⑥健全育成
 - ⑦イ塩水選と種子の消毒
 - ⑧ハ苗代の消毒
 - ⑨適品種の選定
 - ⑩早期除草
 - ⑪いもち病、胡麻葉枯病、菌核病、一化メイエ虫、青虫の防除
- 二、大豆
 - ①優良品種の選定
 - ②栽培密度の改善
 - ③摘心
 - ④優良品種の選擇
 - ⑤深 耕
 - ⑥堆肥の増肥
 - ⑦馬鈴薯
 - ⑧種子の消毒
 - ⑨銅製剤の散布
 - ⑩適期播種
 - ⑪いさ病でんと虫だましの防除
 - ⑫優良品種の選擇
 - ⑬健全の増産
 - ⑭草木灰の増施
 - ⑮黒斑病の防除
- 三、雑 穀
 - ①優良品種の選擇
 - ②健全の増産
 - ③黒斑病の防除
- 四、馬鈴薯
 - ①優良品種の選擇
 - ②健全の増産
 - ③黒斑病の防除
- 五、甘 藷
 - ①優良品種の選擇
 - ②健全の増産
 - ③黒斑病の防除

【投書欄】

【徒 輩】

松代村PTAの結成に當りて

一、結成を祝いて
 教師と父兄が協力して子供のよい環境をつくり教育の効果をあげようという目的の爲に結成されたPTAは全国各地にその活動を展開し民主的教育を向上せしめてゐることは嬉しい。この際に當り松代村にも三月十六日附を以て結成をみたことは心から祝福するものである。

二、教職員と父兄との關係
 教職員の犯罪行為が極右左思想者の續出及びその指導指示が又民主的教育とは自らの判断個性を伸ばす爲自由研究を主体とする云々に格構つて教育本来の使命を怠し、民衆より幾多反感を抱かして居るは実に慨然に堪へない。

かくて底下せる原因は一に教職員個人の責任上自覚の足らなきを追求されようが大局に目を轉ずれば善良な、優秀な教職員が教鞭を捨てた事実は教育を極度に底落させてゐる。このおそるべき現象に當りてその責任回避を何人に求むべきか？かかる悲劇を蘇生したものはいわゆる「？」に於て然らしむるのである。

父兄諸士よくこの点に留意せられんことを望む。

三、役職員は實質的活動者たれ松代村には古今を通じて各種團體等が結成せられたが結成の當初においては一部の発起者の意

然に燃えて不可解であり且つ不可能であるスローガンを輕視し形式的なる結成をなして結成後における活動は頓に衰へてはべつて視するものさしい。或ては発起人もさへ熱した鉄を水の中にジャブン？と言つた様な虚絶無態なる実例を聞き及びみるのである。

PTAの將來を祈るならば役職員は合議性による企劃と身を凝らすの實踐を爲し、民心をして村民一体の責任であり義務であると了解される迄に浸透指導指示せしめ、PTAの発展に寄與せられんことを望む。

四、運営管理に當る者はあくまで教育振興たれ團體の役員にして往々政治意識を持つ人の中には何等かの方法により人を疑ひし己れのラツ恥風をもちりみす、その團體をして政治的に運用し而して己れの地位を高めやうとする者あり又機智に富みし者、口と腹と相反するにも拘はらず口述を以て人を待て功を奏しよと企て居る者あり。かかる者は何かにつけてもこの精神なり。これ等はする等の発展を祈るものとする自己主義者であつて民主日本を再興する小供、向學心に燃え明い日本建設の爲にいそしむ小供な小供の教育にはマラリヤカであり花柳病である運営管理に當る各諸士の健全上留意せられんことを望む。

松代砂防事務所

新築なるか？

澁海川砂防事務所として一時的に松代へ腰を下した砂防事務所は工事施行箇所と而も地すべり箇所等が多いため松代砂防事務所として本腰をすえ單に澁海川流域のみならず、東部五ヶ村に大島、保倉、旭等の砂防工事に逐年その事業は擴大され歴代の主任所長は事務所の建築を要望されてはいたが、偶々今次の戦争やらの他關係各村の財政事情からして遂にその機は至らなかつた。

而し昨年末より現青木所長は東西走縣も遂にその熱意に動かされ本年は工事用貨物自動車を一支配車するの外、事務所新築助成金として拾萬円交付すると云ふ事となつた。

地元各村これを傍觀出来なかつた。これは當然であるため、去る十三日東部五ヶ村の村長會を本村役場に開催終日これに對する措置を協議した。砂防事務所の要望としては、

本家(事務所)
 三間三尺……八間 二八坪一棟

新築なるか？
 玄關
 六尺……九尺
 車庫
 二間三尺……五間一棟三坪五合
 便所
 六尺……九尺一坪五合
 流し
 六尺……三間
 總坪數四六坪五合

此の總工事費七拾五萬円と云ふことであつたが、適当な賣家があれはそれを買入れることも望ましい、尙この工事費の各村の負擔額は決定に至らなかつたが各村長とも歸村の上は急速に村會懇談有志会等にはかり取組めねばならんとしよるが、先般の新聞報導によれば縣当局は一切の寄附行為に對し制限を加へるとあるからこの工事費の捻出には相當な苦心を要するものと見られる。陸の島東頸城郡の又奥地と云われる東部の開発は何處とも治山、治水の完備にあることは言ふをまたない。故に地元松代は各村に卒先してこの事務所新築の任に當らねばならん

無火災村を作りましよう

消防研究会開催

本村消防團では曩に最高役員會を開催本年度の行事計画と併せて研究諸問題を決定本月十五日各分團班長以上を招集協議研究したが従来本村の火災の原因を検討するに、その大部分が灯ちんの置き忘れと、取灰の不始末である事が判明した。

而して灰は農家にとつては重要な肥料である爲徒らに之を捨てて事も出来ない關係から村当局と連絡をとり今後五ヶ年計画で村内全農家に灰溜を設置せる事として、差当り本年は五十戸の農家に一戸三百円宛の灰溜設置奨勵金を交付して実施することとなつた。

別に規格の定めはないが火消つば式のものでなければならぬ希望者は分團役員と協議の上役場消防係へ申込まれたい。

その他最近家屋近くでごみの消却をする向きがあるが尤も危険な措置であるからこれ等を嚴重に取締る申合せである。

人家二百米以内の箇所では焚火をすることは注意を受けらるまでもなくお互ひ慎まねばならんことであるとしてゐる。

尙火氣取扱ひに關する優良家婦の表彰、火の元臨検も併せて行うとのことである。

水で消すより、心で防げ

